

—「東アジア文化都市2016奈良市」市民連携事業—

小浜市に伝わる韓国船遭難救護のお話



海は人をつなぐ 母の如し

潮の流れと吹く風は 人を運び歴史を刻んだ
“うしおのみち”海がつないだ
こころの文化

1900年(明治33年)1月12日、露国ウラジオストク沖で遭難した一隻の韓国船が、若狭湾の小さな漁村、泊(とまり)の沖合に漂着しました。村人の懸命な救護によって、93人の韓国人全員が無事に故国へ帰りました。韓国人と村人は、八日間の滞在を通じて心を通わせ、親子兄弟のように別れを惜しみました。国家間は緊迫した時代にありながら、互いに心をつないだ民と民。奈良の姉妹都市・小浜に伝わる歴史秘話を、ぜひこの機会にお聴きください！

入場無料

事前申込み制 往復はがき
先着 280名様

◆第一部 遭難船の第一発見者の
子孫が語る歴史秘話！

「泊の歴史を知る会」 大森和良さん



◆第二部 琵琶で史実を語る！

筑前琵琶奏者 川村旭芳さん

『サインパンゼ号漂流譚』

～海は人をつなぐ母の如し～

作詞：川村素子／作曲：川村旭芳（2004年初演）



【同時開催】 ホワイエにて資料展示

【主催】 学園前ホール(指定管理者 株式会社大阪共立)

【共催】 学園前街育プロジェクト実行委員会

2016年 9月19日(月・祝)

14時開演 13時30分開場
16時頃終演予定

会場：学園前ホール

(奈良市西部会館市民ホール)

近鉄奈良線「学園前駅」南改札前
(三宮・難波より近鉄奈良行きにて直通)

〒631-0034 奈良市学園南3丁目

1番5号 西部会館3階

Tel：0742-51-2001



お申込み方法

往復はがきに、イベント名・住所・氏名・年齢・電話番号をご記入の上、8月26日(金)必着にて、学園前ホールまでお送り下さい。はがき1枚につき2名様まで申込み可能です。(2名様の方名を明記して下さい。) ※申込期日を過ぎても受付が可能な場合がありますので、ホールへお問合せ下さい。

●お申込み・お問合せ先：学園前ホール 〒631-0034 奈良市学園南3丁目1番5号 西部会館3階 Tel：0742-51-2001

1900年(明治33年)1月12日、露国ウラジオストク沖で遭難した一隻の韓国船が、若狭湾の小さな漁村、泊の沖合に漂着しました。泊は、わずかに百人あまりの小さな漁村。村人の懸命な救護活動によって、93人の韓国船員が無事に故国へ帰りました。言葉も通じない韓国人と村人は、八日間の滞在を通じて心を通わせ、親子兄弟のように別れを惜しましました。当時、日清戦争と日露戦争のはざま、国家間は緊迫した状態でしたが、遭難救護を通して出会った民衆同士は心と心をつないだのです。(絵本『風の吹いてきた村』～韓国船遭難救護の記録～より)

大韓帝国の時代、韓国併合の十年前の出来事で、救助された韓国人達は、現在の北朝鮮にあたる地域の人々でした。百周年にあたる2000年(平成12年)、日韓の有志によって泊の浜に建てられた記念碑には、「海は人をつなぐ母の如し」という言葉が、日本語とハンゲルで刻まれています。

Profile

おおもりの かずよし
泊の歴史を知る会 大森 和良
<http://www.mitene.or.jp/~kazu-o/>



「泊の歴史を知る会」事務局
 「韓国船救護百周年記念事業実行委員会」事務局

小浜市出身在住。遭難船の第一発見者の曾孫にあたる。小・中学校教諭、国立青少年自然の家・生涯学習センター等の勤務を経て、現在、やまなみ保育園長。

2000年、日韓の有志によって「韓国船救護百周年記念事業」を開催。韓国文化放送(MBC)がドキュメンタリー「百年目の再会」を制作。絵本『風の吹いてきた村』を制作、エスペラントにも翻訳されている。シンガーソングライターとして、記念碑に寄せるイメージソングをはじめ、佐渡の曾我ひとみさんの帰国会見時の言葉に曲をつけるなど、多くの歌を作って演奏している。国際交流、まちづくり、講演、音楽など多方面で活動中。

【関連発行物】

- 1997年『韓国船遭難救護の記録』
- 2000年『風の吹いてきた村』日本語・ハンゲル(モノクロ)
- 2014年『風の吹いてきた村』日本語(カラー挿絵15枚)
- 2014年 同 エスペラント版『La vilago al kiu blovis la vento』(日本エスペラント学会出版)



帰還時に韓国人から泊の浜で渡された礼状(内外海村長宛/大谷家蔵)



倉谷善右エ門村長の送別の辞



韓国船を係留したロープ(倉谷善右エ門村長の実家で保存されている)



韓国船救護100周年を記念して建てられた石碑(建立当時の写真/小浜市泊海岸)

◆奈良と小浜の交流

小浜の鶴の瀬では毎年3月2日に「お水送り」が行われます。その「お香水」は、十日間かけて東大寺二月堂「若狭井」に届くといわれ、東大寺の伝統行事「修二会(お水取り)」で汲み上げられます。この古き歴史の縁から、奈良市と小浜市は1971年(昭和46年)11月7日に姉妹都市盟約を締結しました。以来、経済・観光・文化・スポーツ等各方面で活発な交流がなされ、中でも両市の特産物と観光の紹介のために開催される観光物産展は好評を博しています。2011年(平成23年)10月8日には、姉妹都市提携40周年セレモニーが小浜市で行われました。

かわむら きよくほう
筑前琵琶奏者 川村 旭芳
<http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>



神戸市出身在住。「筑前琵琶日本旭会」総師範 故二代柴田旭堂師のファンだった母の勧めで、八歳の頃、師に入門。現在、「筑前琵琶日本旭会」師範。門人会「筑前琵琶川村旭芳会」主宰。NHK-FM「邦楽のひととき」出演。古典を継承しながら、新しい琵琶曲の創作にも取り組み、

阪神・淡路大震災の追悼曲はじめ、母川村素子の作詞による作品も発表。代表作の一つ、『サインパンゼ号漂流譚～海は人をつなぐ母の如し～』は、「泊の歴史を知る会」大森和良氏より依頼を受け、2004年、遭難救護の仮事務所になった小浜市泊の寺院にて初演。川村家が倉谷善右エ門村長の遠縁にあたることが偶然に判明し、以来、倉谷家との交流が続いている。

箏・尺八・胡弓などの演奏家四人で結成された、和楽器ユニット「おとぎ」の代表を務め、2014年には結成十周年記念コンサートを学園前ホールにて開催。

【ソロアルバムCD発売】

2011年『川村旭芳作品集I～母娘合作集～』および『筑前琵琶のしらべ～源平一ノ谷合戦～』二枚同時発売

【和楽器ユニットおとぎ アルバムCD発売】

2007年『音戯箱』/2009年『音戯箱II』/2013年『音戯紀行』

お知らせ

11月26日(土) 14時～ 会場: 学園前ホール
 和楽器ユニットおとぎ「やまと風雅草紙コンサートvol.3」

このお話を、語りと和楽器による音楽劇として上演します!

関連の絵本・CD

●絵本『風の吹いてきた村』文: 大森和良/挿絵: 上原徳治

韓国船遭難救護の史実に基づいた絵本。小浜市在住の画家、上原徳治氏による15枚の挿絵で生き生きと再現しています。

定価 1,200円(税込) 2014年発売

【お求め・お問合せ】

大森和良 tomarian@me.com / Fax: 0770-52-6118

関連サイト『風の吹いてきた村』

<http://www.mitene.or.jp/~kazu-o/>



●CD『筑前琵琶 川村旭芳作品集I～母娘合作集～』

「サインパンゼ号漂流譚～海は人をつなぐ母の如し～」をはじめ、母川村素子の作詞による代表曲を収録。

定価 2,000円(税込) 2011年発売

【お求め・お問合せ】

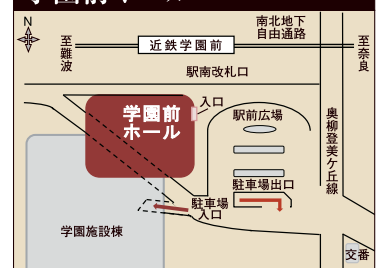
川村旭芳琵琶楽舎 Tel: 078-341-3685

川村旭芳オフィシャルサイト

<http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>



学園前ホール(奈良市西部会館市民ホール)



近鉄奈良線「学園前駅」南改札口すぐ